



Good bye Perio プロジェクト⑦

こんにちは、歯科衛生士の柴山です。今回は歯周病の治療内容についてお話しします。

歯周病のもっとも基本的な治療法は、ブラーク(歯垢)コントロールです。

病原性ブラーク(歯垢)を除去し、お口の中のブラーク(歯垢)を正常なレベルに維持し、環境を整えることが重要です。そのために、まず歯ぐきの健康状態を検査してその方のお口の中合った内容でブラーク(歯垢)や歯石の除去とブラッシングの指導を行っています。歯周病治療は歯医者でのケアだけではなくご自身でのケアも大切になってきますので、協力をしての治療になります。一生ご自身の歯で、おいしいものを食べていけるように柴山が全力でお手伝いさせていただきます。歯周病治療は期間がかかる治療になりますが、一緒に健康なお口を目指していきましょう!!

～いけがみ歯科は、頑張るあなたを応援しています～

歯っぴ～通信

平成 24 年 10 月号 Vol.57

実りの秋がやってきますね!

みなさんこんにちは。いけがみ歯科クリニック院長の池上誠です。10月になりましたね。「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉のとおり、先月のお彼岸を過ぎてから、ぐっと涼しくなりましたね。特に朝晩は、虫の音も聞こえてきて、秋らしさを感じますよね。ただ、昼間との気温差があるので、体調を崩したり、風邪をひいたりしている方があるかもしれませんね。汗の処理や空調に気を付けてくださいね。さて、先月の話なのですが、とても素敵な現場をうちのクリニックで目にさせていただきました。それは、「同級生との再会」です。50代の女性の患者さんがお二人、どうやら中学時代の同級生らしく、待合いでばったり再会して話に花が咲いているのです。30分以上お話しされていました。とても楽しそうで、表情も良くて、「うちのクリニックが、こういう場にもなるんだ」と心温かくなりました。秋本番を目前にして、ここがこれからもそんな素敵な偶然が生まれる場になればいいなと思ったのでした。

院長 池上 誠

噛み合わせのお話④～頭痛の引き金～

今回は、頭痛のお話をしますね。前回の腰痛と同様に、頭痛のすべての原因が噛み合せからくるものではないでしょうから、噛み合せがよくないことから起きる頭痛のお話をしますね。よくあるのは、片噛みと言われるもので、左右のどちらかでしか咀嚼しないことからくるものです。そのことによって、片方の顎の周辺の筋肉が異常に緊張してしまうんです。特に、側頭筋の過緊張が続くと、やがてその筋肉が硬くなり血行が悪くなって筋肉性の痛みとなって頭痛が生じてしまうのです。頭痛薬やマッサージで一時的にしのごいても、根本的な改善がなされないとまた頭痛が起きてしまうのです。意識して両側で食べるだけでもずいぶん改善されると思います。継続的な頭痛がある方は、お気軽にご相談くださいね。

～あなたの声を聞かせてください(患者さまの声)～

このスペースでは、治療後に寄せられた患者さまの声を掲載しています。

会社から近くで仕事終わりに通院できて良かったです。

親知らずも気にはなっていたので抜けて良かったです。(まだ右下にあります…) 定期検診も宜しくお願いします。

(岡山市/匿名希望)

〒700-0827
岡山市平和町6-27
WAKAビル2F
発行：池上誠



歯科・口腔外科・小児歯科・
レーザー治療・予防歯科・
インプラント・ホワイトニング
西川沿い・岡山駅から徒歩10分
いけがみ歯科クリニック
(086)237-7731